

中頓別版コモンズ形成事業について

〈令和5年度の取り組みについて〉



写真：6月16日に開催された中頓別町「共助」の仕組みづくり推進協議会の様子

先月号では、中頓別版コモンズ形成事業の「共助」の仕組みづくりや相談機能の整備、マッチング機能の整備を中心とした令和4年度の成果を紹介しました。

今月号では、令和5年度の事業内容や現時点での進捗について紹介します。

中頓別版コモンズ形成事業

中頓別版コモンズ形成事業は、住民相互の「共助の仕組み」を構築し、持続可能な中頓別町を目指します。中頓別町の住民の方達が培ってきた住民相互の助け合いの営みや昔の暮らしを改めて知り直すこと、また、現在、新たな仕組みや制度として構築されつつある事業・取り組みの現状や課題を各事業間で共有することを通して、中頓別町らしい「共助」の仕組みのあり方を考え、地域の中で実践につなげることを目指しています。

令和4年度は、共助の仕組みづくり検討事業、相談機能の整備、マッチング機能の整備のため、中頓別町「共助」の仕組みづくり推進協議会の体制を整え、これらの進捗

を確認しながら、プロジェクト推進を図ってきました。

令和5年度の事業内容

令和5年度は令和4年度に引き続き、「共助」の仕組みづくり、相談機能の整備、マッチング機能の整備を進めていきます。また、プロジェクト全体を管理統括するために中頓別町「共助」の仕組みづくり推進協議会を構成し、各種取り組みについて報告・議論を行います。

①町民インタビュー

北海道大学の学生による町民の方を対象としたインタビュー・聞き書き、住民相互の対話の場を設定します。令和4年度は70〜90歳の9名の町民の方にインタビューを行い、インタビュー内容は北海道大学の調査実習により「聞き書き中頓別」として1冊の本にまとめられました。今年度は幅広い年代、職業の方へインタビューを行います。インタビューの内容は、ライフストーリー（生活史）、小さいころから今に至るまでの人間関係（社会



写真：6月16日に旧松田商店で開催されたなかとん「くらし」座談会の様子

関係)、生活・仕事の様子やそこでの課題、現在とこれからの中頓別について考えることなどです。町民の方が日頃思っていることや人生を通じて感じていることをインタビューによって明らかにし、これからの「まちづくり」につなげていくとともに、町民の方の町づくりに対する関心を高めることを目指しています。

②なかとん「くらし」座談会

移住相談をしたい移住希望者に向けた移住相談窓口の体制強化や情報発信、生活に不安を感じている住民の方の課題解決を目指す、なかとん「くらし」の座談会の開催、その他様々な方からの相談に対し、受け止め、寄り添い、解決へつなげるような窓口機能の整備などを行っています。

なかとん「くらし」座談会は、「くらし」に関するテーマに焦点を当て、個人の困りごとを町や地域の課題と捉えて、住民同士で話し合い、課題や将来の希望の共有、実践へつなげることを目的に行われています。今の時点での町の課題や

困りごとだけでなく、数年後、10年後の中頓別のくらしがどうなっているかも視野に入れながら考えます。また、意見交換を行うことで、相談を受け止める「断らない」相談体制の構築を目指しています。6月16日に「聞き書き中頓別」の完成を記念して行われた座談会では、北海道大学 宮内 泰介 教授からは、相手を理解するためには「聞く」ことが大切であることや、座談会をきっかけに新たなつながりができるので、そのつながりを大切にしてほしいと話がありました。今後も様々なテーマで座談会を実施する予定です。様々な課題を解決する方法の1つとして「マッチング機能の整備」と連動して、横断的に事業を実施する「縦割り」を超える取り組みを目指します。

③支え合いの仕組みづくり会議

「地域生活サポート事業」では、より利用しやすい形に進めていくため、現状の課題や取り組み事項について整理し、将来的には全世代の町民が「支え」「支えられる」全世代型ファミリーサポート事業の



写真：地域生活サポート支援事業の様子

地域生活サポート支援事業の料金体系

援助内容		利用料	利用料助成額
家事援助	○買い物代行 ○調理 ○掃除、洗濯・窓拭き ○ごみの分別・ごみ出しなど	200円/15分	利用料の半額
外出支援	○散歩 ○買い物 ○通院などの外出時の付き添い		
その他	○草取り、庭仕事、畑仕事の手伝い ○重い荷物や家具などの移動 ○書類・手紙の代読・代筆など ○見守り、安否確認など		
除雪	※ 屋根の雪下ろしは行わない	500円/30分	助成なし

仕組みづくりを目指します。『ポランティア』として行う部分と『仕事』として行う部分を検討し、より利用しやすい事業を目指します。

④ライドシェア交通グループ会議
「なかとんべつライドシェア」では、月1回程度の頻度で、ドライバーと事務局の意見交換を目的として「交通グループ会議」を行っています。また、平成28年8月の実証実験開始から令和5年3月までの間で、総走行距離は29,276kmでこの距離は地球1周の約73%の距離になります。今年度は特に、利用者ごとドライバーのマッチング向上に向けた取り組みを目指して現状の地域交通の課題を踏まえた新たな展開について検討を行っていきます。

⑤しごとマッチング機能の促進
町がこれまでに取り組んできた無料職業紹介所や特定地域づくり事業協同組合の取り組みを踏まえ、町民の方が相互に支援し合う共助の仕組みづくりを展開していきます。「中頓別無料職業紹介所」は有効求人件数、有効求職者数とともに伸び



写真：6月に旧松田商店で開催されたオープンデイの様子

ており、あつせん数も増えています。しかし、職種によっては、応募が少ない求人もあるので、今後、更なる情報発信などの施策が課題となっております。

⑥旧松田商店再生PJチーム

旧松田商店の立地特性や様々な展開が可能な土地面積、調理台や水回りなどが設置されている設備を活かし、地域課題を解消する場として活用するための検討・運営の中心を担っています。旧松田商店の愛称は、先日まで行われていた投票により決定します。投票の結果、候補として、「旧松田商店、MATSUDA、モトマツダ」「なかとんスペース」「ふらっとflat、なかとんべつ交流館『ふらっと』」が上位として挙がりました。この後、再度、協議を行い最終決定となります。また、建物は今後建物改修の設計業務が始まり、令和6年10月ごろのリニューアルオープンを目指して準備が進んでいきます。建物の不便解消や意見交換会の開催、勉強会の開催などについては適宜実施していきます。

「聞き書き 中頓別」配布中

「共助」の仕組みづくりを検討するため、北海道大学文学部宮内教授と連携して、町民インタビューが行われました。その内容をまとめた冊子として「聞き書き 中頓別 北海道中頓別町の人と暮らし」が発行されています。長く中頓別で暮らししている方の人生から、中頓別のいまとむかしを知りなおし、これからの中頓別を考える内容となっております。表紙は菊地幸男さんが描いた上頓別の風景です。

冊子は役場、介護福祉センター、ほか町内数か所で配布しています。ぜひお手に取って、ご覧になってください。





気を付けて渡ろう 幼児交通安全教室

5月26日、中頓別町立自動車学校で、交通安全教室が開催されました。



認定こども園の3歳児クラスから5歳児クラスの園児たちが参加しました。認定こども園でこぐまクラブの発会式の後、自動車学校で横断歩道を安全に渡る方法をクラス担任と確認しながら横断歩道を渡り、運転手の方へお辞儀をしていました。

記録に挑戦！ 町民体力テスト

5月27日、中頓別町立中頓別小学校体育館で、スポーツ少年団結団式と町民体力テストが開催されました。



およそ20人が参加し、関節の柔軟やコンディショニングエクササイズを行った後、体力テストでは、立ち幅跳びやボール投げなど全5種目を行い記録を測りました。体力テストは春と秋に行われ、成長の様子を確認します。

ナイスショット パークゴルフ大会開催

5月28日、寿公園パークゴルフ場で第22回町長杯争奪パークゴルフ大会が開催されました。



当日は天気にも恵まれ、多くの町民の方が参加していました。それぞれ、日々の練習の成果を発揮していました。初参加の方もいましたが、パークゴルフを楽しんでいる様子でした。優勝者には、日用品などが贈られていました。

放課後子どもプラン サクラを植樹

5月29日、天北厚生園で放課後こどもプランの子ども達が植樹を行いました。



この取り組みは細谷建設株式会社の協力を得て行われており、小学1年生から4年生までの18人で、身長より大きなエゾヤマザクラを力を合わせて植樹しました。今年植えた木は来年の5月頃に花が咲く予定です。



熱心に話を聞いて学ぶ 社会科見学開催

6月1日、中頓別浄水場で、職場体験会が開催されました。

当日は、中頓別小学校の4年生の子ども達5名が中頓別浄水場を訪れ、社会科見学が行われました。子ども達は、川から採水された水が、どのように浄水場で飲用水へと変わるのか職員からの話しに熱心に耳を傾けていました。最後は、出来立ての水をおいしそうに飲みました。



働くことを考える 中頓別中学校職場体験

6月1日、中頓別中学校2年生の生徒たちを対象に、町内の事業所にて、職場体験学習が行われました。

中頓別町役場には、石川茜さんが訪れていました。中頓別町役場の固定資産税業務について学び、実際に家屋状況の調査や小頓別や豊泉などの地区に新築家屋が無いかどうかの確認業務を体験していました。



元気いっぱい駆け回る 神崎町営牧場の入牧

6月3日、神崎町営牧場で入牧が行われました。町内の酪農家から預けられた132頭の牛たちは、東宗谷農業協同組合の職員や酪農家の方々に誘導されました。

入牧の際には、職員から牛体測定が行われるなどして、これから大切に飼育されていきます。



犬を飼っている方へ 狂犬病予防注射の実施

6月6日、7日、中頓別町内各地区で狂犬病の予防注射が行われました。

NOSA I 北海道の獣医師が各地区の自治会館などを回り、狂犬病予防注射を行いました。予防注射を受ける前には、威嚇するように吠えており、注射時の愛犬たちは、痛そうな表情を浮かべながら、予防接種を受けました。

